

透析アミロイドーシスと慢性炎症指標 (CI index)との関係

[研究分担者]氏名:西 慎一¹⁾

所属:神戸大学大学院腎臓内科・新潟大学大学院腎臓内科

[共同研究者]氏名:黒田毅²⁾、和田庸子²⁾、中野正明³⁾、
大澤 豊⁴⁾、恵 以盛⁵⁾、大森 健太郎⁶⁾、

所属:神戸大学大学院腎臓内科¹⁾

新潟大学大学院医歯学総合研究科内部環境医学講座腎・膠原病内科学分野²⁾、新潟大学医学部保健学科³⁾、新潟臨港病院⁴⁾、山東第二医院⁵⁾、大森内科医院⁶⁾

[目的]

透析アミロイドーシス(HDA)の発症には透析歴に伴い増加する。その背景に、炎症・酸化ストレスの関与が疑われている。そこで、HDA診断基準による診断された症例、あるいはHDAの臨床症状と、炎症・酸化ストレス指標との関連を検討した。

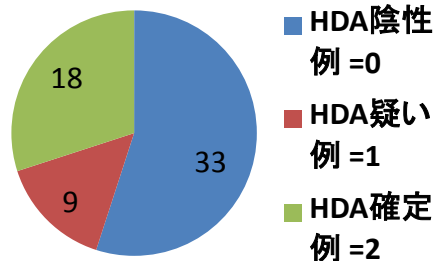
[方法]

厚生労働省アミロイドーシス研究班により作成されたHDA診断基準に基づき、HDA確定群、疑い群、非HDA群における炎症・酸化ストレス指標を次の式で求め比較検討した。

$$CI 1 = CRP \times ferritin \div Alb (\text{アルブミン}) \times 100$$

$$CI 2 = CRP \div Alb \times 100$$

アミロイドーシスに関する調査研究班平成25年度研究会報告会 2014/1/23-24
IV-13 透析アミロイドーシス



結果と結論

厚生労働省アミロイドーシス研究班で作成した透析アミロイドーシス (HDA) 診断基準と、慢性炎症指数との関連をみると、HDA確定群の慢性炎症指標が高い傾向が認められた。HDA発症の背景に慢性炎症（炎症・酸化ストレスが関与していると推測された。

交互作用棒グラフ : $Cl_{index} = 1 = CRP \times ferritin / Alb$

交互作用棒グラフ : $Cl_{index} = 1 = CRP \times ferritin / Alb$

